

技術士業務開業研修会



活用促進委員会委員

機械 向井 利文

1. はじめに

2021年1月16日(土) 13:15~17:00 第3ウエノヤビル6階において、中国本部活用促進委員会主催の講演会が開催された。今回はコロナ禍中の開催となり、鳥取会場へのWeb中継、個人へのオンライン配信、さらに本会場では講演者と聴講者の部屋を分離する等、可能な限り感染対策をとりながら実施された。



司会：川本明人委員 開会挨拶：大江清登委員長

2. 講演要旨

(1)講演1:「技術士の資格活用に関する検討概要および業務開拓について」

技術士資格活用委員会委員長 笠原弘之氏
技術士(電気電子)



東京からWEB講演の笠原氏

「技術士は職業資格であり、社会の課題解決のために活用されて意味がある」という基本スタンスのもと、①公的活用の推進、②産業界活用の推進、③国際的活用の推進を図っている。公的活用として、現在中央省庁所管の公的資格の技術士の活用が認められている19の公的資格に加え、可能性の高い4項目に

絞り関係省庁に働きかけている。また、産業界活用として、技術士の知名度向上に向け、企業技術士会や大学技術士会へのヒアリングを実施し、技術士資格活用に向けたPR冊子の作成、PRビデオ制作を推進している。さらに、国際的活用として、海外進出をサポートする仕組み作りとして、相互認証協定の拡充等に取り組んでいるとの紹介があった。

(2)講演2:「独立開業技術士の体験談と気づき～開業をお考えの皆様へ～」

細田技術士事務所 細田直樹氏 技術士
(経営工学)



島根からWEB講演の細田氏

講演は3つの構成で、①開業決意、②開業準備、③開業後、のそれぞれの体験と気づきについて紹介された。開業決意に関しては、今までの会社での実績を棚卸して深く考えた。それを基に独立開業に必要な3つの要素、すなわち志、力量、市場に落とし込んだ。最終的には家族からの信頼・応援が得られ開業を決意した。

開業準備では、各県や市にある産業振興財団等の公的機関の支援を活用することが有効である。

開業後は、独立開業前の仕事ぶりを評価され最初の仕事につながった。営業面では対面と非対面があり、対面営業は自分の言葉で熱意が伝わるように心がけた。また、開業後は独立開業に必要な3要素に加え、健康・体力も重要であることに気づいた。自分で自分を

信じられる人が成功すると感じている、と締めくくられた。

(3)講演3:「専門分野以外での技術士能力の活用～BCP 作成支援を中心として～」

LF コンサルタント 長原基司氏
技術士 (情報工学/総合技術監理)



広島会場(事務局会議室)から講演の長原氏

自身の独立技術士として実施してきた業務内容の紹介があった。専門分野以外での技術士能力を活用するには、技術士倫理綱領や技術士法をよく理解することである。例えば、倫理綱領第3項の「有用性の重視」は、事前の学習や研究があり確信が持てる時は、技術部門に縛られることなく業務が遂行できること。技術士法の第四十五条に「秘密保持義務」が規定されているが、これは技術士であれば正式なNDAを交わさなくても知財など関連する業務に携われることを意味する。これらを有効に活用すべきである。

収入のベースを作る上で、中小企業の顧問や行政、産学コーディネータ等の依頼があれば、技術士として継続的な業務展開ができる。また、中小企業を対象にした、ものづくり補助金申請の支援も有効である。これには加点項目があり、2019年からBCP策定の簡易版がこの項目の一つに挙げられている。具体的には、「事業継続力強化計画」認定制度であり、災害時の対応を具体化し所轄の経済産業局に申請するもので、専門以外の技術士の力が発揮できることを解説された。

(4)講演4:「個人コンサル業としての業務開拓、ポータルサイト等の活用～ミラサポなどで受注力を上げる登録法～」

正井慎吾氏 さんあい技術コンサルタント
技術士 (経営工学)



広島会場(事務局会議室)から講演の正井氏

定年60歳、定年延長65歳から開業すると、健康寿命を考慮してスタートダッシュ力を高める必要がある。そのためには開業前の自身の技術コンサル市場の動向調査や、開業後の営業から受注につなげるポータルサイトの活用がポイントになる。ポータルサイトには全国的な「ミラサポ」、広島地区ではひろしま産業振興機構、広島市中小企業支援センターなどがあり、専門家登録する上でのポイントの紹介があった。

このような登録・出会いの場からの受注力を磨くために、重要な3つの要素として、技術力×提案力×営業力が挙げられる。経営者から信頼されるには、技術提案だけでなく、より革新的なインサイト型提案(コト提案)がポイントとなる。そのための提案・クロージングの例としてFABEを使った提案書ストーリー骨子作成の解説があった。

3. 総合質疑応答およびあとがき

各会場から熱心な質疑応答があり、それぞれの立場の方がそれぞれ判断できる幅広い情報が得られ、有意義な講演会となった。

コロナ禍で制約の多い中、講師の皆様の情熱的なご講演に感謝いたします。



昨年度の
写真を使用

閉会挨拶：中島泰孝副委員長